関大
発行所
関西大学校友会
吹田市山手町3—3—35
編集発行人　林　信夫
電話大阪(388)1121代表
振替口座大阪55594番

# 総額千七百余万円

## 校友会新年度予算案成る

坂本総務部長

中本事業部長

四十二年度の校友会予算案については、改選後新役員の分掌が三月十一日決まって以来審議を重ねられていたが、四月六日の常議員会で最終的検討を加えられた結果、総額千七百三十万二千円、前年度に比し百八十三万七千円増と決定した。新予算案については、畑下財務部長から、また事業計画案は坂本総務部長から説明があり、これに対し熱心な質疑応答があった。四十一年度の決算決定を待って代議員会を開いて承認を求めることになる。四十二年度予算案の主なる費目および事業計画案次のとおり。

【新予算】　支出の主な項目は人件費八百三万九千円、物件費二百十八万円、会議費四十五万円、事業費五百九十三万円となっており、また収入では会費収入九百六十八万二千円、会費外収入七百六十二万円となっている。

【事業計画】　①校友総会は従来どおり十一月中に開催する②機関紙"関大"は四ページ建を建前とし、紙面内容の充実と発行部数の増大をはかるとともに広告料金の改訂を行なう③会則に会員名簿発行の項目があるので、事務局機構を拡充強化して名簿発行の準備を整える④会員の慶弔については慶弔の漏れなきよう万全を期す⑤組織活動の強化をはかるため地域、職場の事情に即応する施策を考究するとともに支部、職域会などの代表者会議を開催、校友活動の振興強化につとめる⑥学生援助（学友会活動の援助）と在学生の顕彰などについてはさらにこれを拡充し、体育、学研、文化活動などにおいて母校の名誉を高めた学生の顕彰など特別援助を行なう⑦大阪市内への分館設置問題は未解決になっているが、新たに校友会に委員会を設置して、これが実現の方途を十分検討したい。

◎前号に坂本総務部長および中本事業部長の写真が間にわあなかったので、本号に掲載いたしました。

# 自覚と意欲をもて

## 森川学長の言葉

41年度卒業式は3月20日千里山体育館で、また42年度入学式は4月8日、1部は千里山体育館、2部は天六学舎体育館でそれぞれ開かれた。席上、森川学長は「旺盛な意欲をもって仕事に、勉学に打ち込んで貰いたい意欲こそは進歩の母である」と熱情をこめて巣立ち行く新卒生および新入生諸君にじゅんじゅんと説かれた。今年の卒業生は1部3,437名、2部834名、合計4,271名で入学生は1部5,612名2部1,193名、合計6,805名。

## 卒業生諸君へ

新卒業生諸君、諸君は多年堂々の功成って、今や大学の課程を修了し、学士の称号を得ることになった。ことに第二部の諸君は、勤労と勉学の二重の労苦に堪えて、今日の栄誉をかち得たのである。卒業生諸君の胸には、思い出多い学窓を去る惜別の情もひとしおであろうが、それにも増して、各自それぞれ志望の学を成就した喜びが満ちているであろう。また長年肉親の愛情をもって、諸君の学成る日の待ち望んで来られたご父兄、ご家族のご満足もひとしおであろうと推察する。われわれもまた、ここにその喜びをともにし得ることを、大学に職を奉ずるものとしてこの上なき幸せに感ずるものである。卒業生諸君、おめでとう！と心からお祝いを申し上げる。

ところで、諸君にとって卒業はすなわち実社会への門出である。諸君は卒業の喜びとともに、前途に対する新しい希望に燃えているであろう。もっとも諸君の中にはなお大学院に残って、さらに学問の道に進もうとする人もあるであろうが、大多数の諸君は、実社会への道を選び、すでに定まった職場を約束されていることと思う。大学では四年間であったが小学校以来を通算すると、諸君は過去十六年、あるいはそれ以上におよぶ長い学窓生活を続けて来た。今日この長い学窓生活に別れを告げて実社会の人となることは、諸君の人生における一つの大きな転機をなすものである。諸君も定めし感慨深いものがあるであろうし、またこれから出て行く未知の世界に対して一つの不安を感じているでもあろう。私はここで、諸君の新学生諸君、私はこの機会に諸君がこれから本学において勉学する上の心構えについて、私が諸君に期待することの二、三を述べ諸君の参考に供したいと思う。

まず第一に、諸君は関西大学の学生として、大学生たる自覚と誇りを、常に堅持していてもらいたい。というのは、諸君は多数志願者のなかから選ばれて大学に学ぶ身分をかち得たのであり、しかも諸君がこれから社会において果すべき任務は極めて重要なものがあるからである。すなわち諸君は、やがて大学教育を身につけて社会に出た上は、社会の知識階層となり、社会を大きくリードする中堅階層となるべき使命を担っている。いうまでもなく今日の社会は一人の英雄によって率いられる社会でもなくまた少数の独裁者によって支配される社会でもない。いわば大衆社会であって大衆のなかから盛上がる輿論によって動かされ、結集された人々の英知と道義（モラル）によって支持され、かつ進歩する社会である。大学卒業者はそれ、このような社会における健全な輿論の主動的形成者であり、また高い水準の英知と道義を代表する階層であるべき責務を負っているのである。従ってまた、大学に学ぶ諸君は、同じ年齢層の青年の間でおのずから一段と高い知識と道義の水準を身をもって示すべき立場にある。私はこの意味において、諸君が常に学生たるの矜持と誇りを持し、日常の所作、言動においても、いやしくも学生の名に恥じないように留意されることを希望する。

次に私はまた、諸君に対し謙虚であれと望みたい。誇りをもてということと、一見矛盾するようであるが、次のごとく考えるならば、決して矛盾するものではない。すなわち諸君は選ばれて大学に学ぶのであるけれども、日常衣食にまより心を労することなく勉学に励み得ることは、諸君がいわば恵まれた境遇にあることを示すものであって、諸君はその恵まれた境遇に感謝の気持をもってしかるべきだという意味である。諸君と同じ世代の青年の中には今年の入学試験に失敗して来年を期している者もいるであろうし、諸種の事情で進学の道を選ばず、高校または中学だけで社会に出て、種々の実務についている青年男女も多数いるのである。ひとり青年ばかりではなく、社会で活動している老若多数の人々の貴い労働の成果によって諸君はその日の糧にあまり心を労することなく、安穏に日々勉学にいそしむを得ている。いわば社会の恩恵によって勉学をなし得ているのであって、諸君はこの社会の恩恵をおろそかに思ってはならない。諸君は社会に対しあるいは実務に従事している人々に対し、素直に謙虚な気持ちを持すべきである。学生である身分をあたかも一種の特権階級であるかのごとく考えたり、振舞ったりすること、また一般社会人が学生たる諸君に対してしばしば示してくれる好意に対して、あまりに狎れ過ぎたり甘え過ぎたりすることのないように、厳に戒めなければならないのである。

第三に諸君は、大学において勉学を進めるに当っては、何よりも旺盛な「意欲」をもって臨まなければならない。いうまでもなく今日の大学教育は「高い教養と専門的知識を兼ね備えたよき市民を育成すること」を目的としている。そのために各学部、各学科によって、それぞれ適当な教科目が編成されており、諸君はその教科目にしたがって勉学することになる。ところがこの際特に留意すべきことは大学教育は、どこまでも学生の自主的、自発的勉強を期待しているということである。したがって諸君から積極的に勉強するという気構えと努力が要請される。例えば科目の履修も幅広い選択が認められ、諸君は自分の興味にしたがって勉強計画を立てることになる。そして講学や実験実習、または演習のような小人数クラスではもちろんのこと、大教室におけるレクチャーなどにおいても、諸君は自ら進んで疑問を起し、自ら考え、自らその疑問を解決し、理論や学説の理解に到達するよう努めねばならぬ。そのためには教室のほかに図書館、読書室、実験室などの設備を積極的に利用することが必要であろう。

いずれにしても、諸君は積極的であるけれども、日常衣食にまより心を労することなく勉学に励み得ることは、諸君がいわば恵まれた境遇にあることを示すものであって、諸君はその恵まれた境遇に感謝の気持をもってしかるべきだという意味である。諸君と同じ世代の青年の中には今年の入学試験に失敗して来年を期している者もいるであろうし、諸種の事情で進学の道を選ばず、高校または中学だけで社会に出て、種々の実務についている青年男女も多数いるのである。ひとり青年ばかりではなく、社会で活動している老若多数の人々の貴い労働の成果によって諸君はその日の糧にあまり心を労することなく、安穏に日々勉学にいそしむを得ている。いわば社会の恩恵によって勉学をなし得ているのであって、諸君はこの社会の恩恵をおろそかに思ってはならない。諸君は社会に対しあるいは実務に従事している人々に対し、素直に謙虚な気持ちを持すべきである。学生である身分をあたかも一種の特権階級であるかのごとく考えたり、振舞ったりすること、また一般社会人が学生たる諸君に対してしばしば示してくれる好意に対して、あまりに狎れ過ぎたり甘え過ぎたりすることのないように、厳に戒めなければならないのである。

第三に諸君は、大学において勉学を進めるに当っては、何よりも旺盛な「意欲」をもって臨まなければならない。いうまでもなく今日の大学教育は「高い教養と専門的知識を兼ね備えたよき市民を育成すること」を目的としている。そのために各学部、各学科によって、それぞれ適当な教科目が編成されており、諸君はその教科目にしたがって勉学することになる。ところがこの際特に留意すべきことは大学教育は、どこまでも学生の自主的、自発的勉強を期待しているということである。したがって諸君から積極的に勉強するという気構えと努力が要請される。例えば科目の履修も幅広い選択が認められ、諸君は自分の興味にしたがって勉強計画を立てることになる。そして講学や実験実習、または演習のような小人数クラスではもちろんのこと、大教室におけるレクチャーなどにおいても、諸君は自ら進んで疑問を起し、自ら考え、自らその疑問を解決し、理論や学説の理解に到達するよう努めねばならぬ。そのためには教室のほかに図書館、読書室、実験室などの設備を積極的に利用することが必要であろう。

いずれにしても、諸君は積極的

## 入学生諸君へ

新学生諸君、諸君は多年堂々の関門を突破して、今日ここに晴れの入学式を迎えられたことを、ご家族のご満足もひとしおであろうと推察する。われわれもまた、ここにその喜びをともにし得ることを、大学に職を奉ずるものとしてこの上なき幸せに感ずるものである。新学生諸君、おめでとう！と心からお祝いを申し上げる。

ところで、諸君にとって学生生活はすなわち実社会への門出である。諸君は学業の喜びとともに、前途に対する新しい希望に燃えているであろう。もっとも諸君の中にはなお大学院に残って、さらに学問の道に進もうとする人もあるであろうが、大多数の諸君は、実社会への道を選び、すでに定まった職場を約束されていることと思う。大学では四年間であったが小学校以来を通算すると、諸君は過去十六年、あるいはそれ以上におよぶ長い学窓生活を続けて来た。今日この長い学窓生活に別れを告げて実社会の人となることは、諸君の人生における一つの大きな転機をなすものである。諸君も定めし感慨深いものがあるであろうし、またこれから出て行く未知の世界に対して一つの不安を感じているでもあろう。私はここで、諸君の中にはなお大学院に残って、さらに学問の道に進もうとする人もあるであろうが、大多数の諸君は、実社会への道を選び、すでに定まった職場を約束されていることと思う。大学では四年間であったが小学校以来を通算すると、諸君は過去十六年、あるいはそれ以上におよぶ長い学窓生活を続けて来た。今日この長い学窓生活に別れを告げて実社会の人となることは、諸君の人生における一つの大きな転機をなすものである。諸君も定めし感慨深いものがあるであろうし、またこれから出て行く未知の世界に対して一つの不安を感じているでもあろう。私はここで、諸君の学の卒業生にも与えられていない。今日、大学の卒業生は、現在の教育制度における最高の学府を出た者という資格において、全く平等なのであり、その将来のコースについても、出身校の国立・公立・私立によって何等差異があることはない。諸君はむしろ、私学の自由な学風に育ったことを誇りとしてよろしいのである。

しかしこのことは同時に、大学卒業という経歴が、諸君の将来に対し、特別に有利な栄進の道を約束するものでないことを意味するであろう。近時産業界その他において、人の任用や昇進に関し、学歴よりも実力を重んずる気風がますます強くなりつつある。現実の世界はきびしい。学歴の上にあぐらをかいて、将来を夢みるというような、安易な考え方は許されないのである。したがって諸君はいずれの方面の職場に向かうにせよ、結局は自己の実力で自己の運命を切り開いて行く覚悟がなければならない。

かくいうと、大学で四年間学ぶよりも、むしろもっと早く世に出た方が、仕事の上の実力がついたのではないかという疑問が出るかも知れない。なるほど諸君が大学をもって、堂々と実社会に出て立ってもらいたいということである。今春、諸君と同じように国公私立の各大学の門を出る者の数は全国を通じて約二十万、その大多数が一ように実社会へのスタートを切るのである。かつて大学がエリート教育の場となされた時代には、限られた特定大学の卒業生に将来世の指導者となるべき特権的コースが開かれていたことがあった。しかし今では、その、ような特権的立場は、いずれの大

# ほぼ完全就職へ

## 三月末九七・四パーセント　昨年四月末を上回る

本学就職課では三月三十一日現在の四十一年度卒業生の就職状況を発表したが、これによると就職率は順調な上昇経過をたどり、一部は九七・四％と昨年四月末の九七・一％を〇・三％上回り、未届け分を入れると完全就職ではないかとみている。目立った特徴は文科系が大企業に伸びたことと公務員が減少したことである。

大企業は社内機構の整備と事務機器の発達などで出足は導く好景気を反映して秋ごろから募集に動き出し、就職率は昨年にくらべ約一％、百三十名増となったが一方不況に強く、好景気に弱い公務員の就職は昨年にくらべ六十七名減の百三十九名となった。

中小企業の求人申込みは年々増加傾向にあり、三月はじめには求人申込が百社も残るという始末、求職申込み者がなくついにめぼしいものを残して整理したが、希望者は来校してほしいといわれていた。

就職者を産業別にみると化学・薬品・工業関係が百八十五名でトップ、ついで輸送用機器販売の百八十三名、機械製造業の百五十八名、銀行・信託・金庫・組合などが百五十四名となっている。

### 本学就職課長　鉄井良男氏談

今年の就職がますます成績をあげてわれわれも喜んでいます。どこでもいいというのならともかく学生諸君もいろいろ選択されるので無応募会社は延べ一、五一〇社にもなりました。嬉しい現象ではありますが、私たちも出来るだけ希望の職場を斡旋したいと思うので苦心するわけです。

現在までに昨年の四月末を上回り九七・四％になりましたが、毎年の例からみて、未届け分をいれると大体完全就職といってよいと思う。この調査は届け出と本学からの問い合わせによって集計されたものですが、なかなか届け出てくれないので困ります。現在未届け者には親元に問い合わせている始末です。

このところぼつぼつ求職者がありません。たまに来るのは就職者が条件などの手違いで相談に来る程度で、この三月に残っていた百社の求人申込を整理しましたが、めぼしいものは残してありますから希望者は相談に来てほしい。

| | | | 卒業者数 | 雇用希望者 | 就職決定 | 就職率 | 大企業 | 中企業 | 小企業 | 官公庁・その他企業以外 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 四十一年度卒業者就職状況 | 法 | 一部 | 780 | 696 | 684 | 98.3 | 257 | 202 | 44 | 181 |
| | | 二部 | 290 | 66 | 60 | 90.9 | 5 | 5 | — | 50 |
| | 経 | 一部 | 786 | 728 | 717 | 98.5 | 275 | 282 | 51 | 109 |
| | | 二部 | 266 | 71 | 66 | 93.0 | 9 | 20 | 2 | 35 |
| | 文 | 一部 | 535 | 413 | 388 | 93.9 | 92 | 136 | 47 | 113 |
| | | 二部 | 111 | 28 | 22 | 78.6 | — | 6 | 3 | 13 |
| | 商 | 一部 | 604 | 561 | 550 | 98.0 | 220 | 190 | 41 | 99 |
| | | 二部 | 167 | 38 | 34 | 89.5 | 3 | 10 | 1 | 20 |
| | 工学部 | | 732 | 732 | 710 | 97.0 | 185 | 356 | 86 | 83 |
| | 合計 | 一部 | 3,437 | 3,130 | 3,049 | 97.4 | 1,029 | 1,166 | 269 | 585 |
| | | 二部 | 834 | 203 | 182 | 89.7 | 17 | 41 | 6 | 118 |

大企業＝資本金1億円以上および大規模相互会社　中企業＝資本金1千万円以上1億円未満
小企業＝資本金1千万円未満および個人企業

### 就職決定者の産業別の内訳

| 業種 | 一部 | 二部 | 業種 | 一部 | 二部 |
|---|---|---|---|---|---|
| 農林・漁業・水産業 | 1 | — | 諸機械・工具・精密機器販売 | 50 | — |
| 建設業 | 130 | 8 | 電気機器販売 | 31 | 1 |
| 新聞・出版・印刷業 | 62 | 5 | 事務機器・文具用品販売 | 33 | 1 |
| 化学・薬品・工業 | 185 | 4 | 輸送用機器販売 | 183 | 7 |
| 鉄鋼業 | 29 | — | 燃料・ゴム・皮革販売 | 28 | 2 |
| 非鉄金属製造業 | 32 | — | 繊維業・土石販売 | 60 | 3 |
| 金属製品製造業 | 128 | 1 | 食料品販売 | 41 | 2 |
| 機械製造業 | 158 | 1 | 百貨店・スーパー店 | 51 | 3 |
| 輸送用機器製造業 | 72 | 1 | その他の販売業 | 154 | — |
| 精密機器製造業 | 39 | 1 | 銀行・信託・金庫・組合ほか | 47 | 1 |
| 電気機械器具製造業 | 114 | 1 | 証券業・商品取引業 | 38 | 2 |
| 石油・石炭・ゴム・皮革製品製造業 | 63 | — | 生命保険業 | 9 | — |
| 食料品製造業 | 88 | — | 損害保険業 | 12 | — |
| 繊維工業・衣服製造業 | 88 | 6 | 不動産業 | 68 | 2 |
| 繊維製品製造業 | 63 | 4 | 運輸・倉庫業 | 8 | 1 |
| 木材・木製品・パルプ・紙加工製造業 | 35 | — | 通信・放送業 | 8 | 1 |
| パルプ・紙・紙製品製造業 | 52 | — | 電気・ガス・水道業 | 40 | 4 |
| 化学工業 | 126 | 1 | 教育・宣伝業 | 32 | 5 |
| その他の製造業 | 66 | 1 | 広告・興業業 | 25 | — |
| 綜合商社 | 43 | — | 観光・サービス業 | 55 | 2 |
| 繊維販売業 | | | その他の公務 | 139 | 13 |
| 化学・医薬品・油脂販売業 | | | 合計 | 363 | 99 |
| 金属・鉄鋼・非鉄金属製品販売 | | | | 3049 | 182 |

# 二学部長ら決まる

## 社会―臼井二尚教授　工学―太田鶏一教授

新設の社会学部は四月から天六学舎で教養課程を開講したが、初代社会学部に臼井二尚教授、部長代理に辻岡美延教授が決定。また定年のため辞任された工学部長香坂要三郎教授の後任には太田鶏一教授が就任。四月一日付で発令された。なお任期は四十三年九月三十日までである。

**社会学部長**　臼井二尚（文博）大正15年3月京大文学部哲学科社会学専攻卒、同年4月大学院入学、同月京都高等工芸講師、昭和2年大谷大学教授、同4年京大文学部専任講師、昭和5年4月から7年3月までドイツ、フランス、北米、主としてフライブルク大学で社会学研究のため留学、昭和7年京大文学部助教授、同19年同教授（社会学担当）、同20年6月文学博士、同26年文学部長、同38年定年退官名誉教授、同38年大谷大学教授、同40年本学文学部教授社会学担当、明治33年8月27日生まれ。

**同部長代理**　辻岡美延（文博）昭和25年京大文学部哲学科心理学専攻卒、同27年同大学院退学、同27年京大助手、同29年本学専任講師（心理学、教育心理学担当）同32年助教授、同35年8月、一九六〇―一九六二年度フルブライト教授として渡米、同年9月米国イリノイ大学リサーチ・アソシエイト、同37年3月文学博士、同年8月米国イリノイ大学リサーチ・アソシエイト退職して9月帰国、38年本学文学部教授、大正14年12月16日生まれ。

**工学部長**　太田鶏一（工博）大正13年大阪高等工業舶用機関科卒、同年京大助手、昭和5年退官、同年日本製鋼所第一研究部長、同20年北海道工業虻田製鋼所研究部長、同22年日本粉末合金技師長、同25年本学短期大学部教授、同32年本学専任講師、同33年本学教授（工）同33年工学部長代理、同34工学部長代理、同36年出版委員会委員、同38年工学部長代理、同41年工業技術研究所研究員、明治36年1月3日生まれ

**関西大学東西学術研究所長**　高橋盛孝　大正12年東大文学部卒、同12年東大大学院退、同15年京大文学院修了同13年兵庫県立神戸第一高女の高等科講師、同15年静岡高等学校講師、昭2年大阪府立農業補習学校教員養成所教授、同4年本学講師、同13年本学教授、同18年学生主事、同23年新制教授兼専門部教授、同24年専門部長、同25年四月短期大学部教授兼任、同年6月大学院兼務、同36年出版委員会委員、明治32年7月17日生まれ。

### 永田省三氏に紺綬褒章

永田省三氏（昭30学一二〇七）は三月二十八日、大阪府知事室で紺綬褒章の伝達をうけられた。氏はナガタ工芸社代表者で現住所は吹田市津雲台三の一A三一である。

# 七月下旬に発行へ

## 41年度卒業生の校友名簿　定価は送料とも二百円

関西大学校友課では昭和42年三月に卒業された新校友の名簿を発行することになり目下これが準備作業を進めている。

内容は本年三月大学を卒業された全員（大学院修了者を含む）の勤務先の名称・所在地・電話番号と本人の現住所・電話番号を記載あわせて母校の役員、教職員の住所・電話番号、校友会役員および各地支部の連絡所、電話番号を収録することになっている。

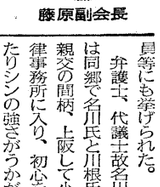
発行予定は七月下旬、定価はB5判、約百二十ページで二百円（送料とも）予約申込みは六月末まで、申込先は吹田市山手町三の三の三五、関西大学総務局校友課である。

なお40年度卒業生の校友名簿は若干残部がありますので、ご入用の方は定価百円に郵送料五十円をそえて校友課まで申込み下さい。

# 川根、藤原氏当選

## 大阪弁護士会副会長

川根副会長


藤原副会長

二月十九日、大阪弁護士会館で大阪弁護会の会長、副会長四名の選挙を行なわれたが、本学出身の川根洋三氏と藤原光一氏の二氏が副会長に当選された。

**川根洋三氏**（昭16専二法卒）本学卒業後立命大法文学部一部法律学科入学、十八年七月在学中に高試司法科をパス、同年九月に卒業とともに近衛第一連隊に入隊、陸軍法務見習士官となり、十二月に法務中尉、二十年六月法務大尉に昇進、法務官たること約一年。終戦で復員、二十一年一月、大阪弁護士会へ弁護士試補として入会、二十二年八月に弁護士登録。大弁では各種委員、司法修習副委員長、近弁連の人権委員、日弁連の代議員等にも挙げられた。

弁護士、代議士故名川悌市氏とは同郷で名川氏と川根氏の叔父が親交の間柄、上阪して小倉武雄法律事務所に入り、初心を貫いたあたりシンの強さがうかがわれる。物事に如才がないので重宝がられている。趣味はゴルフ、ドライバー、マージャン、囲碁天狗会会員である。

**藤原光一氏**（昭15専二法卒）本学卒業後大阪公立青年学校教諭を奉職中に応召、歩兵第八連隊に入隊、中国、比島、シンガポール、インド方面に従軍、第一線の苦労をつぶさになめられ、二十一年復員、二十二年四月大阪市立中学校教諭として教鞭をとられていたが、二十四年に司法試験にパス、修習をへて弁護士に登録した。

藤原氏は派手に表面に立たれないが、ものごとに打込む熱心な研究心には定評があり。大弁では総会副議長ほか各種委員、近弁連、日弁連の役職にも就任し功績をのこしている。趣味は書画、骨董、碁、なかなかの好評であった「やっとこの道に踏みきりましたが、これから大変です。短大、母校の高槻高校あたりから誘いがあるので……」と語られていたがともあれ今後のご精進を祈りたい。昭和二十八年短二卒、自宅およびアトリエは高槻市古曽部町三丁目一三―三九

# 小阪謙造氏独立

## 地元高槻での個展好評

旺文会会員として個展すでに十一回の小阪謙造氏ばこの三月、教壇をさられいよいよ画業一筋に専念されることとなり。独立後初の個展を地元高槻市の三井銀行高槻支店で四月三日から七日まで開かれた。

会場の一階ロビーにはカトレア、石仏、活火山など作品十数点が花やかに展示され親子連れのお弟子さんたちが熱心に作品を参観、なかなかの好評であった。大阪市内の高槻高校あたりから誘いがあるので……」と語られていたがともあれ今後のご精進を祈りたい。昭和二十八年短二卒、自宅およびアトリエは高槻市古曽部町三丁目一三―三九

# 会長　金長松氏留任

## 総会記念　本学へ刺繍を贈呈

朝鮮人同友会

関西大学朝鮮人同友会総会は三月十八日、北の三麗で六十余名の朝鮮同友らが参加して開催されたが、特に院修卒と昭38卒の多いのが目立ち総会は極めて盛会であった。

総会に先だち映画「関大」を上映、ついで久井本学理事長、森川学長、辺洪燦馬山大学教授、呉在陽朝大政経学部長の祝電披露があり、中本校友会事業部長と神屋厳事務局長が祝辞を述べられたが、両氏はそれぞれ国が異なっても関大の名のもとで一致団結した。大音楽舞踊叙事詩はすばらしく団結は偉大なものとわかった。なお両国親善に役立つ関大校友の役割りは大きいと強調された。

総会での李鎮元幹事長の会務報告をまとめると次のとおりである。

①ある同友は名簿発刊のために一年半もかけて完成した（拍手）②森川本学学長、校友会会長に刺繍を贈呈（毎日・朝日・読売新聞に報道）③同友会が正式に校友会関係会に登録④多数の代議員が選出。

なお本総会を記念して祖国の刺繍を久井本学理事長と校友会事務局にも贈呈した。会則改正による役員選挙の結果はつぎのとおりである。

会長　金長松　副会長　鄭文一　朴燦時　呉辰成　幹事長　李鎮元　副幹事長　金景勲　会計幹事　高晋三　幹事　朴良洙　李桂弘　康連南　康承石　宣永守　崔昌林　高淳吉　孫大述　朴守根　金秀元　金熙元　高桂洙　宣鳳雄　姜大福　役員以外の参加者　安昌洪　禹成圭　尹鎮渙　尹富雄　金元河　金鎮萬　金順河　金博守　金精一　金江子　金憲子　姜雅子　玄敏平　昊昌根　高錫棋　高栄浩　崔漢洙　崔淇渕　金永圭　曺圭一　孫晟杓　丁英植　白永熙　文永碩　辺成圭　朴一杓　朴玉植　朴東洙　朴温海　呂昌九

### 東城　支部活動活発化

城東支部は、三月十八日大阪市城東区蒲生町の城東工業会館で支部総会を開いた。当日は樫本校友会長も交えて江原支部長以下十五名が出席、会長を囲んで最近の母校のようすに話しが*はずんだ。

城東支部数年前華やかに発足したが、その後は尻すぼみなのでこれを機会に大いに盛り上げていこうと参加者全員でちかいあった。また、今回の統一地方選挙で大阪府会議員に立候補されるという坪井一宇氏の健闘を祈った。

### 十四会　入学生の質向上

## 森川学長から報告

卒業して四十三年になる同期会の十四会は西村治三郎、中西恒三両君が当番幹事で、四月九日（日）宝塚の国際観光旅館さくらで懇親会を開いた。あいにくの雨であったが年一回の集まりであり、事業経営に専念されるもの一役すましたり隠居組もあって二十名、和歌山から参加した公認会計士北坂君は昨年黄綬褒章を受けられた。

同期の森川学長から入学式を昨八日に行なったが、今年の志願者は五万名を超え、未だかつてない入学難であったが、それだけに優秀な成績の学生が多くなったこと法人評議員の前川信之助君からは経営面でも規模は拡大しているが健実な歩みである旨の報告に、今昔の感にたえぬものがあった。

次回の幹事は杉山志敏、久田一栄の両君に決まった。

◎出席者　今井忠勝、井上賢一、裏野三治、北坂正三郎、小林義、杉山志敏、妹尾光恭、辻市夫、中川賢一、中西恒三、西村治三郎代、西村末治、浜名慶次郎、久田一栄、平尾栄、前川信之助、松本兼仁、松岡繁晴、森川太郎、横田敬治

### 中村専任講師に工学博士

本学工学部の専任講師中村文俊氏に二月一日、大阪府立大学から工学博士の学位が授与された。学位論文は「炭素鋼の初期摩耗と定常摩耗に影響を及ぼす諸因子に関する研究」である。

昭和29年近大機械工学科卒、同35年大阪府大大学院金属工学科博士課程修了、同25年常国精工、同35年大阪府大金属工学科徴給助手、同36年本学助手、同39年本学専任講師昭和4年10月23日生まれ。

# 電気主任技術者の免状

## 本学電気科卒業生は国家試験なしで貰える

金景勲

卒業生からの要望もあり、大阪通産局などで調べたことを電気工学科大田義一先生に相談の上、書くことにしました。

本学は主任技術者規則第一条による通商産業大臣の認定学校であるので第一種、第二種および第三種電気主任技術者免状が国家試験を受けずに無試験で交付されることになった。

これは昭和三十九年七月電気事業法の改正によるもので「主任技術者に関する省令」が昭和四十年六月に制定せられ本学の電気工学科卒業の学歴を有するものは表に示す実務経験を経て免状が交付される。

通産省令第五十二号によれば学歴・実務の経験の内容は表に定められている。左記は通産局見解であり、右記は本学の科目であるが本学卒業生にはほとんど交付されると思います。

申請に必要な書類は①主任技術者免状交付申請書②卒業証明書③単位修得証明書④実務経歴証明書⑤戸籍の抄本である。これらを番号の順序にそろえて左とじにつけ合わせて提出（一部）することになっている。「第3種書類提出先は大阪市東区大手前之町　大阪通産局公益事業部施設課施設係（九四一）九二五一」単位の相談は五月十四日、宮城国彦先生古稀祝賀記念会の日に関大会館三階ロビーで正午から受付ます。

なお当日は第一回電友会同窓会を開催いたしますのであわせてご通知を申し上げます（院博工電）

| 免状の種類 | 実務内容 | 経験年数 |
|---|---|---|
| 第一種電気主任技術者 | 電圧5万V以上の電気工作物の工事維持又は運用 | 卒業後5年以上 |
| 第二種電気主任技術者 | 電圧1万V以上の電気工作物の工事維持又は運用 | 卒業後3年以上 |
| 第三種電気主任技術者 | 電圧5百V以上の電気工作物の工事維持又は運用 | 卒業後1年以上 |

大阪通産局見解の必要科目および単位数

| | 項目 | 関係科目 | 単位数 | 本学の学科目で左記に該当すると思はれる科目 |
|---|---|---|---|---|
| 1. | 電気理論および電気計測に関するもの | 電気磁気学、電気回路理論、電気計測、電子工学通信工学概論 | 22単位以上 | 電気磁気学Ⅰ④、電気磁気学Ⅱ④、電気計測学④、☆4、電気回路Ⅰ④、電子工学Ⅰ④、通信工学▲2、電気回路Ⅱ▲2、電子工学Ⅱ▲2、周波工学▲2、半導体工学▲2 |
| 2. | 電子の発生、輸送および管理に関するもの | 発電、変電、配電（屋内配線を含む）高電圧工学、電気管理 | 10単位以上 | 電力工学Ⅰ☆4、電力工学Ⅱ☆4、高電圧工学▲2、電気施設管理▲2、電気法規▲2 |
| 3. | 電気機器および電気材料に関するもの | 電気機器、電気材料 | 8単位以上 | 電気機器Ⅰ④、電気材料学②、電気機器Ⅱ▲2、 |
| 4. | 電力応用に関するもの | 照明、電熱、電動力応用電気化学、自動制御 | 6単位以上 | 電気応用工学④、照明工学▲2、電気化学▲2、電気鉄道▲2　自動制御▲4 |
| 5. | 電気実験および電気実習に関するもの | 基礎実験、電気応用実験電気実習 | 6単位以上 | 電気工学実験Ⅰ③、電気工学実験Ⅱ③、電気工学実験② |
| 6. | 電気設計および製図に関するもの | 電気機械設計、電気製図 | 2単位以上 | 工業製図2、電気機械設計論▲4、設計製図▲2 |

○は必修科目　☆選択必修科目　▲選択科目

# 北から・南から　各地支部だより

### 岸和田　顧問、相談役委嘱

## 支部組織の強化へ

三月二十五日（土）午後六時から南海岸和田駅前の雅苑で支部総会を開催した。

母校の中教授、校友会の樫本会長、中本事業部長、神屋厳事務局長ら出席されて約四十名、支部長森田義氏から、支部組織強化のため新たに顧問、相談役をおき、幹事を増員したい。支部運営の健全化のため会費（入会金二〇〇円、年六〇〇円）を徴収し易いように改正したいとの提案があった。顧問、相談役は左記のとおり決まり、会費は慣習審議の結果、入会金は徴せず、年会費五〇〇円と改正は原案どおり決まった。

顧問　辻野新一（推・弁護士）松原政治郎（大15大法・岸和田本町郵便局長）

○相談役　西田利広　中家利国

### 東大阪市大連一四八六小阪信用金庫弥刀支店伊吹宛

# 活動の積極化へ

## 新年度方針決定

関大体育天六会総会

三月二十七日、午後六時三十分から、天六学舎有鄰館において、二部体育会の全OBの会である関大体育天六会の総会が開催されたが参会者多数でかなり盛会であった。

会務報告、会計報告、規約改正役員改選が、関大体育人の水準で積極的発言のもとに進められていった。四十二年度活動方針として対内、対外活動の積極化を計り組織面において関係各部OB会とのつながりをさらに強固にし、渉外面において現役および大学当局との交渉を密にする具体案が提出され可決された。年間計画の詳細も決定し、最後に現体育本部から体育会の現況および将来について報告があり、八時半散会した。その間、番茶をすするだけという、簡素、清潔な会であった。

なお、終身会費（千円）未納者は左記会計宛送付願いたいとのこと。

山本稀一　原田満　渡辺忠男　湯谷稔　伊藤増一　角野助之丞　中義勝　西田寛哉　神藤清　鳥山武夫

### 鉄道弘済会

## 赤松、上野両氏の送別会盛況

鉄道弘済会関西支部関係の在阪校友十八名は、本年三月停年退職する赤松佐一郎（大13専法）上田耕太郎（大15専経）両氏の送別会を三月二十八日十七時から大阪市北区堂島百楽でひらいた。

会はまず村重実氏（昭9大経・校友会代議員、支部総務部長）の情味あふれる送別の言葉に対し、両氏からそれぞれ謝辞があり、野呂久雄氏（昭10大法・校友会代議員、支部営業部次長）の音頭で乾杯して宴にはいったが、大正年代卒業の両先輩に対する昭和四十一年卒業の新人まで顔をそろえ、終始和気あいあい時のたつのも忘れて歓談し、最後に両氏の多幸を祈って閉会した。（松田記）

### 結婚

◎瓜生征彦氏（昭35学一経＝元体育会本部副本部長、KK宋組勤務）は四月二十四日正午から松坂屋生殿で平田谷子さんと挙式をあげられた。新居は東大阪市池島町一四一一

【お詫び】前号「向井悦朗氏と結婚」の記事中「向井悦朗氏長男」とあるのは「向井裕亮氏長男」の誤りにつき訂正いたします。

◎三木誓三氏（昭33大経）は昭和41年度第二回公認会計士特例試験に合格され二月末結婚かあった。

霊井まさのさん（文学部教授蛍井義正氏母堂）は四月八日午前九時老衰のため逝去、告別式仏式にて四月九日午後二時三十分から大阪府南河内郡狭山町池尻二四九六の自宅で執行された。

淡河邦三氏（昭17二学、昭19大法）は四月十四日死去された。

### 向井氏が優勝

関大神戸ゴルフ会

去る三月二十六日（日）に関大神戸ゴルフ会の第三回コンペを菊水カントリークラブで開催した。当日は晴天に恵まれ多数の参加者を得て快適なプレーを楽しむことができた。競技終了後、食堂の和風別室で飲みほうだいにビール、清酒等で大気炎をあげ談笑にふけった。成績発表に続いてゲストの山崎神戸関大理事長から賞品の授与が行なわれた。当日の入賞者は左記のとおり。

優勝　向井裕亮
二等賞　佐野雄一郎
三等賞　中江秀実
四等賞　坂下彰宏
五等賞　竹谷和夫
七等賞　楯川高明
B・B賞　樫本昭
B・G賞　向井裕亮

### 藪内氏が優勝

南支部ゴルフ・コンペ

大阪南支部のゴルフ・コンペは三月二十九日、奈良国際ゴルフクラブで開かれた。参加者は十四氏であったが、折柄の快晴に恵まれ終日快適なプレーを展開、結局藪内正明氏の優勝となった。なおこのコンペ開催にあたり、奈良支部長の田中藤作氏が種々お世話して下さったことを付記する。


コーキ印
各種袋物鞄嚢専門卸
株式会社　廣島屋本店
専務取締役　藏田廣造（昭和25年経済卒）
営業所　大阪市東区博労町一丁目二六
TEL　大阪（261）二四三一

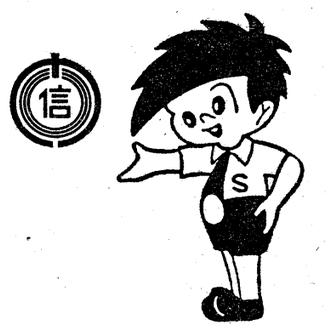
近畿相互銀行
本店　大阪・東区・本町二丁目

大島特許事務所
所主弁理士　大島武夫
弁理士　大島一公
大阪市西区江戸堀北通二丁目二十五番地（とみたビル）
電話（四四一）一一〇〇　一三九四（四四三）六一五〇

ジュピターカーボン紙
帝国カーボン紙株式会社　取締役社長　北原元茂

日新不動産株式会社
取締役社長　川野栄三
大阪市東区高麗橋一丁目一〇番地（高麗橋第ビル）
電話（231）三一三五―七番

柏原瀝青株式会社
社長　柏原国光
副社長　柏原隆
本社　大阪市西淀川区御幣島東二丁目五　電話大阪（471）八二六七、一四九三～四
第二工場　大阪市西淀川区御幣島西三丁目九九　電話大阪（471）〇四二六

繁栄のお手伝い

十三信用金庫
本店　大阪市東淀川区十三西之町2丁目
大阪（301）1331代表

建設機械　(株)オータニ　TEL(531)3141(代)
コンクリートタワー　大谷鉄工(株)　TEL(531)1407
機械と工具　(株)大久物産　TEL(531)8488・8469
大阪市西区立売堀上通3丁目21　大谷総合センター内

# 八十年史編纂室より

## 法学校設立の趣旨

「司法省学校係書類」はふるびた和綴の文書綴であり、表紙には達筆で次のように書き出しがある。

自明治五壬申年至十五
司法省学校係書類
紙数百五拾四枚
外二印行規則
書式冊　但十四
年改正ノ分

「紙数百五拾四枚」と書いた右側に「司法省第七局寄宿生徒係印」ときされた四角の印がポンと押してある。明治五年といえば法学校が明法寮中に開設された年に当り、この書類がまちがいもなく法学校開校以来の公文書のとじこみであることがわかる。聞くところによると、東大の五十年史の編纂史料として用いられたのち同大学の庶務課の保管となっていたものが、最近、図書館の蔵に帰したのだという。司法省の書類がなぜ東大に入ったかは、上述したように法学校が東大に吸収された経過によって説明がつくであろう。

とじこみの中で最も日付の古い文書は、「明法寮之儀一付伺書写」（六頁）というもので、辛未すなわち明治四年の八月廿七日とある。法学校設立の趣旨がしるされているので、その全文をかかげておこう。

法律ハ西洋各国ニモテ学科中専ノ一大業ニシテ顧敏ノオト嗜モ詞訟ノ法、刑名ノ権衡ヲ明ニセザレバ司法ノ任当ハ能ハズ。今般御政体御変革相成候上ハ司法ノ官モ諸方二分置セラルベク、法律ノ人才許多無之テハ御用怒チ差支ヘ候間、本省ニ於テハ法律育方の道即今至急ノ件ニ候。依之明法寮ヲ建サセラレ法律有志ノ生徒ヲ集メ其成業ヲ責メ、追々選挙（註、登用試験のこと）ヲ以テ諸方二分遣スルノ基本ト致度候、不然ハ本省ノ事務到底操作ノ目的相立チ不申候間、此段御評決奉伺候也。

おそらく司法省より太政官正院に提出されたものであり、江藤司法卿の立案によるものであろう。この要求に対して太政官は「伺之通」として可決した。ただし当初

# 司法省法学校と本学創立者たち

（中）

文学部教授　薗田香融

本学の初代学長となった加太邦憲は、明治五年八月に入学した第一次法学生徒であるが、かれは明治七年の夏休を利用して、教師のブスケとともに東北遊覧の旅行を試みている。高崎を経て信州に入り、沼田を経て会津に向い、さらに仙台、金華山、松島をめぐり、日光、宇都宮を経て帰京した。旅程四十五日間にして、旅費わずか十一円であった。奥羽の僻村では一泊の宿賃、中食代を含めて八銭だったという（加太邦憲自歴譜）。二円二十五銭ないし一円五十銭の小遣いが、どれほどの値打ちがあったか、これで大体想像がつくであろう。

かれらは将来の司法界を背負って立つ法曹家の卵として、官費をもって大切に養育されたのである。創立者の一人であり、やはり第一次生徒であった井上操が、本学を創立するに当って、「自分は国費を以て法律を学んだのであるから、此浪速の地において法律学校を設立し、後進を誘掖し、以て国恩に報ぜねばならぬ」と語ったというが（武田宣英・風樹の記）それはかれらのいつわらぬ心境であったであろう。

### きびしい寄宿生活

明治五年八月、法学校開設と同時に入学を許された二十名のほとんどは、はじめ大学南校（東大の前身）にあってリベロールについてフランス普通学に従っていたものであった。だからフランス語に堪能であり、法学生徒となってからの進境もめざましかった。加太邦憲は旧秦名藩士であるが、藩から推挙されて大学南校に入った、いわゆる貢進生であった。かれと同時に大学南校から法学校に転じた熊野敏三、磯部四郎、木下広次、岸本辰雄、宮城浩三、小倉久たちも、すべて士族であって、おそらく貢進生として上京したものたちであったと考えられる。かれらはすでに解体されたとはいえ、旧諸藩の期待を背負ったエリートたちであり、しかもすべて士族階級に属した。かれらのプライドが高く、かつ大きかったとしても不思議ではない。

しかし、かれらは、ただむやみにチヤホヤされたのではなかった。「書類」の中には、生徒規則とか舎中規則などの草案類がたくさん収められている。それらをみると、かれらの日課や舎中生活はきびしく取締られており、さすがに法学生徒らしく規則づくめの毎日であったことがわかる。

明治五年九月規定の「明法寮生徒規則」（十三頁以下）によると寮せしめないという出身府県の引請証書が必要とされ（第一条）、また親の病変以外は一切帰省がゆるされなかった（第三条）。放課後の運動および散歩は許されたが春夏は夕八時、秋冬は夕七時が門限であり（第五条）、外泊は一切禁止されていた（第六条）。飲酒はもとより、吟唱、雑戯も禁じられていた（第八条）。

法学校の所在地は、日本橋に程近い呉服橋（現中央区）にあり、司法省及び上等裁判所に隣接していた。明治八年十月五日付で、法学生徒の出入りは、今後東門に限り、本省及び上裁の諸門を利用せしめない。と定められていた（一九頁）のを見ると、中には監督の目の行届かない諸門を利用して不法外出を企てた豪傑連もいたのではないかと思われる。

### ボアソナードの内申書

明治五年八月十七日付をもって入学を許された第一次生徒二十名は、その後九名の欠員を生じたので、七年四月にいたり四名が補欠採用された。本学創立者の一人、井上操と明治大学の創立者の一人である矢代操は、このとき採用されたものである。明治八年七月、司法省はかねての計画に従い、学力優秀なるものを選び、三年間フランスに留学させることを決定した。ボアソナードの推挙によって選ばれたのは、井上正一、栗塚省吾、熊野敏三、木下広次、関口豊磯部四郎、岡村誠一の七名であった。同年八月、七名の留学生はパリに旅立つ。このうち関口、岡村の二名は不幸にも病気のため客死したが、他は帰朝して大いに活躍した。磯部四郎はのち大審院長、木下広次は東大総長となっている。

さて八年九月には留学生の欠を補うために、開成学校及び仏ジュリイの廃徒生徒の中から試験の上、十二名が採用された（九七頁以下）。のち関西法律学校第四代校長となった一瀬勇三郎や同じく初期の本校講師となった藤村思良らは、この時補欠入学を許されたこうして第一次生徒は、都合二十名の定員が満されて翌年の卒業期を迎えたのである。明治九年一月十九日、ボアソナードは、これら二十名のものに対して行った学力試験の結果を司法卿に内申している。わずらわしいがその内申書（一二三頁以下）の全文を左に掲げよう。

御望ニ任セ法学生徒第一期中三ケ月間講授致セシ処ノ課業ヲ昨年末ヨリ試験致シ候。
学力優劣ノ順序ハ新生徒入校以来三ケ月間ニ受業致サセ候試験之者目ニ御座候。
試験ノ儀ハ遅早ナク好都合ニ相初メ候處大抵ハ皆能ク出来申候ニ付今一期三ケ月間モ講授候得ハ必ラズ尚ホ一層上達致ス可ク存候。
右各名之進歩ヲ御高覧ニ供ス可キ時機ハ近キ又可有之ト必期奏在候

御望ニ任セ法学生徒第一期中三ケ月間講授致セシ処ノ課業ヲ昨年末ヨリ試験致シ候処ノ順序ハ左之通ニ御座候。

諸生徒階級

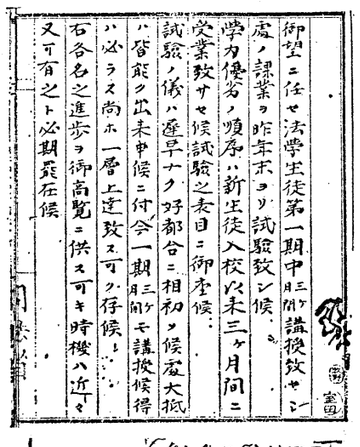
一、宮城　二、小倉　三、岸本　四、加太　五、井上　六、木下　七、内藤（以上旧生徒）八、亀山　九、橋本　十、大島　十一、沢井（一瀬）十二、岩野　十三、高木　十四、井田　十五、藤林　十六、立木　十七、福原（当入儀若し病気無之候ハバ今少々能ク出来可申等）十八、杉村　十九、矢代（旧）二十、大塚

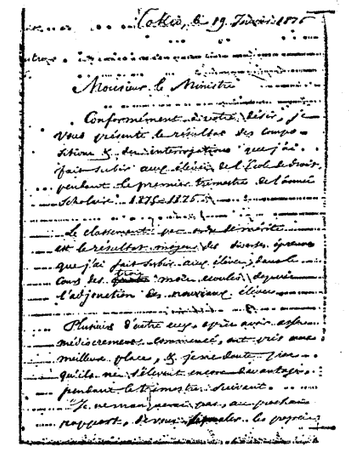
旧生徒之内唯一名矢代氏儀ハ新入諸生徒ニモ及ハサル様相見候同氏儀ハ別ニ伺カ勘考致サセ候カタタニ官ノ為メニ取モ却テ都合ニ可相成、其実法律学ハ必ラス同氏ノ力ヲ用ル可キ業ニシテ有ルマシキ哉ニ被在候。誠爆誠恐謹厳ニ伺シ恭シク敬テ上申ス

一千八百七十六年一月十九日

ボアソナード

わが関西大学の創立に関係した小倉、加太、井上等が仏国留学の選に洩れたとはいえ、上位の成績を獲得していることは心強い限りであった。（この稿つづく）





# 随筆

## カリキュラム編成の悩み

大岩正芳

工学部ができて十年目に入った。今早いものだ。新設学科を別にすれば、工学部の教育も軌道に乗った感じである。しかしこれを別の面から見れば、マンネリ化しかけているということにもなる。そこでこのあたりでカリキュラムを再検討してはということを考えはじめた。

小生、本学に転ずるまでも、学校畑ではあり、少しは講義をしたが、研究が中心であり、学生の教育に就ては考えたこともなかった。それがいきなり百名以上というクラスを対象に教育を考えねばならぬ立場に立たされたわけである。そこで最初はとまどい、暗中模索を続けながらとにかく卒業生を出し、大学院も博士コース修了者がでて、どうやら学生達のレベルや気質もつかめるようになった。また卒業生の評判も少しずつ耳に入ってくる。カリキュラムの再検討を考えはじめた原因の一つはここにもあった。

ところで四月の始めに学会に出席した後、全国の工学部、化学系学科の教育会議の予備会議があり、そこに顔をだしたが、その席上、カリキュラムの問題が話題となった。話を聞いていると、主として官立大学ではあったが、カリキュラムの問題と真剣に取組んでいる所が意外に多いのに驚かされた。大学教育は、現実に還り、ではどのようにすべきかとなると問題は大きい。私学では官公立の大学とは異なり、学生の数が多い。その数が多いことは学生の素質の広いことに連なる。巾が広く、多種多様な学生のいることは、弱点ではなく、それをうまく指導すれば、官公立には真似のできない強みともすることができる。

工学部ができてから、学生の質が問題視されてきたのは、ここ数年のことである。学生の質の低下は眼に見えている。そこで先ず考えられるのはクラス分けを行ない、各クラスに合う講義を行なうことであろう。しかしそれには教室が足りぬ。それよりも教官数が問題である。現状でさえ、教官の不足（定員数そのものの不足）で困っている状態なのであるから。

とにかく悩みはつきない。しかし何とか手を打たねばならぬ。再検討し、改正して行く時期がきていることだけは確かなのだから。

（おおいわ　まさよし氏工学部教授・理博）

## 思い出深い学生生活

### 何気なく浮んだメロディー

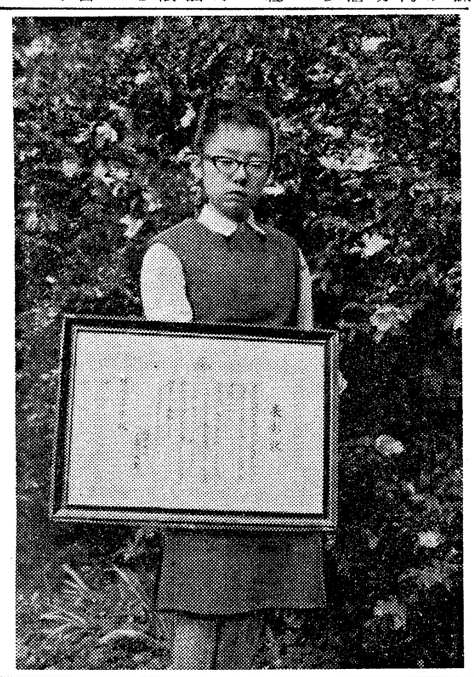
新学生歌作曲者　緒方京子

【創立八十周年記念新学生歌」の募集を知ったとき、私は何となく山田耕作作曲の学歌を思い出していた。

自然の秀麗　人の親和

関西大学に入学した当時、音楽には多少心得のあったとうぬぼれる私にもこの歌だけは、なかなか覚えられなかったのである。そして今年私と一緒に卒業した優等生の中にも〝学歌〟を正確に歌えるものは少いのではないかと余計な心配をすることしきり。七行詩の中に一度も同じメロディーが使用されていないためでもあろうか？そんな事を考えながら、中学校、高等学校さらに、日ごろコミュニケーションを持っていた早稲田大学などの校歌や学歌を口ずさむようになったのが、今から思うと、学生歌をつくるきっかけだったようにも思える。特別に当選を考えていたわけではなかったが……。

高等学校時代といえば、大学受験のために目の色を変えんばかりにして、机にかじりついているのが今では普通になってしまった。私の時代も、理科系のクラスに入っていたゆえに、その例にもれなかった。どちらかといえば夜型だった私は日曜の昼などは、机の前にむかってはいるものの、両親の目をぬすんでは五線紙に音符を書きまくっていたことを覚えている。日記風にしてすい分たくさん残していたものだったが、大学に入ってからは音符は綴がなくなってしまった。幼いころは、ピアノのレッスンも受けていたが、父は私が音大に入るのを嫌って、中学に入ると間もなくストップさせたびひなき　この学園



# 伊勢に公募旅行

## 学友会、新入生を対象に企画

一部学友会中央執行委員会では四月末から五月の初めにかけて、伊勢二見ケ浦で新入生を対象とした公募旅行を企画している。

学友会の計画によると、公募旅行を第一次（四月二十八―四月三十日）第二次（五月一日―五月三日）の二回にわけて各百五十名ぐらいを募集して行なう予定のようである。これは新入生のために「学生生活の設計」の手がかりを作ってもらおうというもので、森川学長以下各学部長、学生部長、学生部長代理、学生主任、学生相談主事、各学部教授にも参加を願って大いに助言してもらうことになっている。

昨年もこの企画を催したが、平素は話しをしたことのなかった学生などには、参加された教授を交えて自分の意見を述べまた助言を得たことは有意義な企画であったと好評であった。今回は昨年よりもさらに期間を二泊に延ばし、参加の先生方とじっくり話し合えるようにし、「大学生活の設計」を十分に練ってもらおうという意図のようである。

学友会の執行委員は、「新入生が四年間という大学生活を送るにあたって、それが有意義なものとなるよう、討論会を通じて、新入生に理解してもらい、同時に講師として参加される先生方の多年におよぶ経験などを聞いて、そこから何かを感じとってもらいたい。現在の大学を見てみると、余りにも大きい大学、多くの学生が存在はどこなのだろうかと考えてもらいたい。現在の大学は、私立の場合には経営者と教授の大学となり学生はつんぼさじきに置かれている。だから、この公募旅行の場において、大学での学生の位置をはっきり理解し、そこから今後四年間の大学生活の方向を見い出してほしい。」とこの公募旅行の意義について語っていた。

## 昭和42年度入試状況

（第一部は既報）

| 学部名 | | 志願者数 | 受験者数 | 合格者 許可者数 | 合格者 手続者数 | 合格者 競争率 | 合格最低点 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 二部 | 法学部 | 1,298 | 1,282 | 439 | 379 | 3.0 | 253 |
| | 経済学部 | 1,038 | 1,012 | 439 | 378 | 2.4 | 210 |
| | 文学部 | 612 | 602 | 204 | 180 | 3.0 | 228 |
| | 商学部 | 667 | 653 | 221 | 191 | 3.0 | 210 |
| | 社会学部 | 336 | 328 | 71 | 64 | 4.7 | 235 |
| | 合計 | 3,951 | 3,877 | 1,374 | 1,193 | 2.9 | |
| 一高（一部） | 法学部 | 99 | 99 | 95 | 95 | 1.0 | |
| | 経済学部 | 83 | 83 | 70 | 70 | 1.2 | |
| | 文学部 | 47 | 47 | 37 | 37 | 1.3 | |
| | 商学部 | 99 | 99 | 80 | 80 | 1.2 | |
| | 社会学部 | 92 | 92 | 75 | 75 | 1.2 | |
| | 工学部 | 73 | 73 | 73 | 73 | 1.0 | |
| 三部 | 商学部 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1.0 | |
| | 合計 | 494 | 494 | 431 | 431 | 1.1 | |
| 総計 | 第一部 | 50,209 | 49,751 | 8,741 | 5,612 | 5.7 | |
| | 第二部 | 3,952 | 3,878 | 1,375 | 1,193 | 2.9 | |
| | 合計 | 54,161 | 53,629 | 10,116 | 6,805 | 5.4 | |

# 日本スケートの三つの課題

## 〝日本選手も若返りが必要〟

## 大川選手のみやげ話

ことし二月末から三月初めにかけて、オーストリヤのウィーンで行なわれた世界フィギュア選手権大会で、見事五位入賞を果した大川久美子さん（商学部四年）が三月十七日夜羽田着の日航南回り712便で帰国、翌十八日午後七時四十分新大阪駅着のひかり号で大阪に帰ってきた。

大川さんは選手権大会終了後欧州各国のエキシビションに招待され、欧州各地を回わって、その妙技を披露してきたが、大会のもようなど〝みやげ話〟をつぎのように語った。

○…選手権大会の初日は大変な風でオーストリヤでは五十年ぶりといわれる強い風と激しい雨が降った。私たちはその日試合がなくホテルに閉じこもっていたが、同行の稲田悦子コーチがリンク（屋外）まで出かけて試合のもようを見てきて「こんなひどい天候なので中止するかと思っていたのに、ペアの競技をやっていたのには驚かされた。リンクはまるで池のようで、強い風でさざ波が立ち、選手は水しぶきをあげて競技していた」とそのひどい試合ぶりにあきれていました。ペアで優勝したソ連のプロトポポフ夫妻は「優勝した喜びなんてありません。そりゃあ、私たちは泳ぎは好きです。夏ならね、それに私たちは泳ぎにきたのではない」と、その強引な日程消化ぶりにすっかり腹を立てていたそうです。

○…競技が終わって感じたことは全体にレベルが上がって上下の差がうんと縮まったこと。試合前の練習で各国の選手が盛んにトリプル・ジャンプを試みていたので来年（グルノーブル冬季五輪）は必ずフリーのプログラムにこれを入れてくるだろう。つまり今回は前回と変らないプログラムだったが、来年は高度な技術を身につけてくるに違いない、ということ。最後に私も福原さんも参加選手中の最年長で、各国選手は全部十代。日本選手も早く若返らなければ……という三つの点です。

○…エキシビションで欧州各国を回わってきましたが、夜中の一時ごろホテルに帰り、翌朝九時にはつぎの予定地に出発するという、強行スケジュールで、私はとても見物したり、ショッピングしたりする余力がありませんでした。その点、外国選手はタフで、ほんのわずかな時間でも、さっさと見物に、ショッピングにと出かけていたのには感心しました。エキシビションは男女上位七位ぐらいの選手で、約三十人。グラーツ（オーストリヤ）を振り出しに、ロンドン―パリ―ジュネーブ―マンハイム（ドイツ）とあわただしく回わってきました。国から国へは飛行機で、その他はバス。TV用のロンドン以外は各地とも三、四千の観衆が集まり、日本とは大分関心の度が違うようでした。とにかく忙がしい旅行で〝みやげ話〟もありませんが、ただウィーンの町だけは、描いていたイメージとは全く違い〝うっとおしい暗い町〟で、まるで「老人の町」だったのにはがっかりさせられました。

○…荒れ狂った天候が回復した二日目から私たちの競技が始まった。規定第五課題終了時五位だったのに、最終課題で少こし固くなって六位に落ちたが、最終日のフリーでチャンピオンになったベギー・フレミング（米国）をはじめ各選手がそれぞれ一、二回転倒したのに、私はなんとかノーミスで回わって五位に入ることができました。

## 全米アマレス選手権大会へ

### 岡田君が渡米

体育会レスリング部主将岡田雅勝君（法四）は、四月十一日からアメリカ合衆国ネブラスカ州リンカーン市で開かれる全米アマチュア・レスリング選手権大会に日本代表選手の一人として四月八日渡米した。

岡田君は昭和四十一年度西日本学生選手権大会でフライ級グレコ・ローマンに優勝、同年全日本学生選手権大会には準決勝まで出場している。

## 昭和41年度卒業生

| | 一部 | 二部 | 計 | 大学院 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 法 | 780 | 290 | 1 070 | 博士課程 | 6 |
| 経 | 786 | 266 | 1 052 | 修士課程 | 68 |
| 文 | 535 | 111 | 646 | | |
| 商 | 604 | 167 | 771 | | |
| 工 | 732 | ― | 732 | | |
| 計 | 3,437 | 834 | 4,271 | 計 | 74 |

# 歓迎の紙吹雪

## 盛況・北九州演奏旅行

### 応援団吹奏楽部

毎年恒例になっているわが倶楽部の演奏旅行は、今年「博多」「小倉」「直方」という北九州方面に参りました。

**三月十七日**　大阪駅から急行「平戸」に乗車しました。一行は翌日小雨まじりの博多駅に到着、つい最近完成した博多駅の見事さは、われわれに、地方に来たという感じを持たせなかった。鶴田旅館に着くやまた直ちに博多駅に逆もどり、直ちに市中パレードに移りました。最近特に乱雑する交通のために思うようにパレードは出来ませんがどうにか無事に会場入り、昭和四十年長崎での全日本吹奏楽で優勝した帰りに立寄ったこの博多市民会館、すばらしい設備、すばらしいお客さん、成功のうちに幕を閉じる。

**三月十九日**　小倉に入る。駅前に整列した関西大学応援団吹奏楽部一行、学歌で小倉市民のかたがたにごあいさつ、直ちに市中パレードに移る。おりからの日曜日、人混みをかき分け、緑美しい小倉城に出る。小倉城に相い対する小倉市民会館、西日本一の設備を持つこの会場、二千人余りのお客をのんで二十一時三十分「ほたるの光」で幕。

**三月二十日**　全員が待ち望んでいた自由解散の日、小倉市内観光に出かける者あれば、パチンコ、麻雀に興じる者、思いおもいの時間を過ごして全員一日を過ごす。

**三月二十一日**　小倉から電車で半時間、列車の窓から筑豊名物のボタ山を右に見て、小さな都市、直方に入る。またもや憎し、小雨の中で、アーケード商店街を突き進む、商店街の紙吹雪の歓迎に全員、少々感激。

博多、小倉と同時に会場に恵まれ部員一同直方市公会堂を見て、始めて演奏旅行の実感を持ったが、とにかくすごい会場、前世紀の遺物の代物、また旅館の朝食には、大阪では、お目にかかれない献立。昼夜二回の演奏会もアンコールの炭坑節に好評を得て、無事終了。二十一時五十二分の各駅停車の大阪行に乗車、二十二日十三時五十九分、全員無事に大阪駅を見る。

一週間の演奏旅行もどうやら、終止符を打つ。


集団給食50年の
経験と信用
株式会社
魚国総本社
大阪市東区道修町2の4
電話 203－5571(代)
東京魚国株式会社・名古屋魚国株式会社
三重魚国株式会社・京都魚国株式会社
魚国繊維株式会社
株式会社魚国クラブ（白浜・伊勢二見・鳥羽・有馬・あやめ池）

鉄骨・橋梁
株式会社 春本鐵工所
大阪市大正区南恩加島町1の151

冷暖房換気設備工事
給排水衛生設備工事　設計並びに施工
株式会社
大阪城口研究所
取締役社長　城口庸平
本社　大阪市北区高垣町一番地　電話 大阪 三七一局七一五一番(代表)
京都出張所　京都市東山区大和大路正面上ル　電話 京都 五六局四九四五番(代表)
神戸出張所　神戸市生田区下山手通六丁目一番地　電話 神戸 三四局 五八九二番

株式会社 竹中工務店
取締役社長　竹中錬一
本店　大阪市東区本町四丁目二七　電話 大阪(252)1201番 大代表
営業所　札幌・仙台・東京・横浜・静岡・名古屋・富山・京都・神戸・岡山・広島・高松・福岡・北九州

電気工事・設計・施工
近畿電氣工事株式會社
大阪北支店　大阪市大淀区大淀町中1－17　電話代表大阪 458－5331
本店　大阪市北区南扇町11　電話大代表大阪 312－1281
支店・支社　大阪南・京都・神戸・姫路・奈良・和歌山・滋賀・名古屋・広島・東京

# 大谷嘉輝氏を囲んで（下）

## 国際会議でもカンニング・ペーパー

**中**　国際会議などで日本人でまともにしゃべれる人は一人か二人である。報告でも単にペーパーを読むだけなんです。だから質問を受けたら即座に答えられない。会議などに行っても結局は日本語で論文を書いて、上手な人が翻訳して外国人に見てもらう、それで印刷するというわけです。

**春原**　日本の英語も読むことは進んできているが、コミュニケイションができない。このごろは意味から覚え出すこともしているが日本の語学教育は試験が"関門"である。中学校から試験だ試験だといって、単語を覚えたり文法がどうだといって、話すことなんかしていたら高校におっこちてしまう。

**大谷**　このあいだ、あるところで日本の文部大臣とホテルで隣りあわせになったので二時間ぐらい、日本の英語教育について話しあった。

私は、日本の英語教育でただ一つだけ簡単な方法があるということを提案しました。それは、東大の入学試験に英語の会話を入れることにしたらどうかということなんです。そうすると、全国の学校でも会話を重要視するであろうしそのための施設も完備して、日本の語学力は進展することは間違いないわけです。文部大臣が、ただそれに同意するだけでいいことであると。

**中**　ところで日本では、自国語で初等教育から大学まで一貫した教育ができるということは素晴らしいことである。われわれの学問でも刑法などはようやくドイツの水準とほぼ同じになったといわれている。論文を書くにも、日本刑法の現状というような紹介文を書かない。ドイツ人が今の問題として模索しているその問題を、われわれも同じスタート・ラインからみて論文を書く、それらが、ドイツの雑誌とか、大きな教科書から引用されるようなことになるというのはそれだけ大きな力を持っていてこの一面と自由自在にコミュニケイションできるという両テンピが難しい。

## 外国人に難かしい日本語

後進国が日本の学問をやり出したが、どうしてもヨーロッパへ行く。日本へ来ると日本語を習わないとやれない。いくら、日本が誘致しようとしても、他の学問はやはり日本で三年か五年日本語を習わないと日本の大学で講義は聞けない、だからみんなヨーロッパへ行ってしまう。私の場合、チープな英国主義でその一種の口実となって理屈になっていない。やると自分の権威が落ちるから、やるのが面倒くさいからというのではなく日本の文化をしらしめるためにやる、日本の名誉になるため語学が必要であるという考え方でなければならない。英語が優秀であるという考えではいけない。しかし英語が国際語になっている以上、将来もそうなる可能性がある限り海外においてもまたに英語のイメージを強調されているわけです。これを変えるためには、日本の学会の論文においても非常に英語がまずい。それをみんな東大の優秀な先生が書いているわけです。ですから、学者連中が私にこの英語解るかっていうので、いや日本語で書いてあったら解かるけれども、英語で書いてあったら解らないというような現象が伴ないます。

私が東南アジアをちょっと旅行した時、特に感じたことは日本人であるということが有意義なことである。私達が英語で話すと、それを連中の持っている英語とり、非常に尊敬するんですよ、大会社の重役を横に待たしておいても、もう一つ上のいわゆる達者な英語であるというもんだから私の話しを聞くんですよ。えらいんじゃないけれど、はったりがきくわけですよ。ロンドンでそのホテルの親父は、ちょっとドイツ語ができる。ところがそのドイツ語たるやいちがいにいかないんですよ。そこで岩本さんに出会って、岩本さんとこへ電話をかけたんです。とこころがそのホテルのボーイが電話に出たんです。そのボーイは英語とドイツ語のチャンポンなんです。"グーボディ・イスト・ダーク"というんです。そんなんですから、僕はドイツ語をしゃべるんです。そうすると、僕にていねいにいってくれるんです。めずらしことですよ。私の友人で英語の少しもできないのがいるんです。ところが彼はドイツへ行っても十五年になるんです。私はアメリカへ行っていた。彼ははじめてアメリカへ行ってむずかしい英語はドイツ語になるんです。やさしい言葉は常識として知っている。だからドイツ語を知っていたら英語は解る。ドイツ語と英語はひじょうによく似た言葉であるから、彼が解らないところをすべてドイツ語でするとアメリカ人は非常に彼を尊敬するんです。

## 外国語で話をすると尊敬される

そして、彼がドイツ語で話しをすると、それにいやでもおおでもつけ答えをする、そうすると、彼は非常に有利な立場に立つことになるんです。だから英語ができないのにドイツ語でしゃべりだすと彼は偉大な人物だと言いだすんですよ。ドイツへ行くと八百屋のおかみさんでも、フランス語でもドイツ語でも自由にしゃべる。だから何ケ国語もしゃべれることは偉いことではないと私は思った。

日本人は語学に対する"感"というか、受け入れ方が下手である。それはだいたい教育による。われわれの先生のもう一つ上の"代"は偉い。外国書を使っていたからただ、それは物理科学のようなものでも英語でならった。日本に教科書がなかったからです。実際のことをいって、われわれは三代目である。そういう初代の方が体得されて、二代目がそれを受け継ぎ、その全部を日本語でしゃべって、それも容易にしろ新潮社にしろいろんな出版社が何もかもたっぱしから日本語に変えてしまう。だから外国語を知らなくても日本語を知っていれば、世界の知識すべてを吸収できる。現在、日本人は非常に便利なものに甘えきっている。だから、もう一度ここで日本の文化を体得はじめる逆の立場に立つべきである。大正時代ぐらいまでは日本語でよかったんです外交官などの特殊な人だけがむこうへ行っておればよかった。今では、商売人でも学者でもみんな行く。アメリカへ行って感じたのは日本から行った先輩は英語が下手ですね。それはわれわれも自認します。

## 外国語を軽蔑した日本人

ジョージア大学には留学生が非常に少ないんですね。一人という人が多いんです。「これを知っている人はいないか。」マス・プロですから二百人ぐらいいるわけです。すると誰も知っていない。僕は非常に意を強くしてパッと立ち上がって、恥ずかしいけれども言った。「君は日本人だけれども何をやっているんですか。」というんです。それから、先生方がまず講義に出られません。僕達は出なければならないんです。そうすると学部の学生は答えられないとチェックをして一点ずつ引かれる。どうしても英語を聞いて出来ないと留学生はついていけない。日本人の語学に対する態度というのは戦争中、イギリス、アメリカを軽蔑した。逆にアメリカに行くとジャンジャン日本語を教育していたその勝負は決まっている。戦後の消費生活まで考えている。だからその心構え一つが問題にならなかったわけです。ですから、日本人には英語にしろフランス語にしろドイツ語にしろ、まあそんなものというような気持でいたらいけんなことになるのであって、戦後二十年、発展している日本語を知らしめるためにも必要なことである。

## 留学してもなんともならない

**大谷**　留学生についてですが、日本ではどうもダメであるが外国へ行けばなんとかなるであろうというような考えの人が多い。特に中小企業の重役とか社長の息子にそんなのが多い。

**春原**　関大の卒業生で司法試験を通ってこの春、私法の修士が終るとカナダへ行って、あと世界一周を無銭旅行してくるつもりだといっていたが、実際にそんなことができるか？

**大谷**　実際そんなことは不可能である。アメリカは各国からそういう連中が集まって来ている。そしてある家族などで「ちょっとでいいから泊めてくれ」といってもダメである。一年や二年の面倒をみてもらっても何の収得も出来ぬし、せめて五年ぐらいいて専門的な研究をするというのであればあと日本へ帰ってもさしつかえない。語学もできない、何もわからないでそんなことをするのはよくない。勉強をしていて非常に優秀である人が日本へ帰っても優秀な人物として取り扱われるということもあり得ない。日本へ帰ったに一番下になって働かなければならないこともある。それではアメリカへ行った人なんかはなかなか日本へ帰って来ない例が多い。そういった日本の学会の封建性についてはけしからんなんと言はとんだが、いろんな一面で無銭旅行ということはできない。ただし、留学ということであれば、一年でも計画的に行くのならよい。

**春原**　日本で弁護士の資格を持っていった場合、なんとかならないか。

## 英語ができねば留学も無意味

**大谷**　英語ができないとダメである。弁護士の持っているテクニカルパントというのは非常に難かしい。こちらでやっている程度では無理である。しかし、それは"志"の問題であるから、弁護士の資格を持っており、英語ができるというのであればむこうでもその"志"を認めてくれる。要するに正攻法で積極的にやることである。そういうことであればアメリカに行っても何とかできるが、何もできないのにアメリカに行って生活しようというのは余りにも非科学的である。英語なんてものはいう問題があっても読んでいないから知らない。日本の教育はこういう点、かたよっている。現在、大学は就職のプロセスとしてあるしかし、それは現実問題であるから否定する必要はない。それではいかに関大を就職率の高い大学に引き上げていくかということが、焦眉の急であると思う。現実主義的な立場に立って大学を改革させていくのであれば、パック・ボーンのためにはタイプをする、英語の時間を増やす、英会話をするというようにして、それができなければついていけないというような強硬な政策があったら、五年たてば就職率は百パーセントの大学になれると確信する。しかも、もっと発展する、と。いままでいけば関大は近畿大学よりもダメな大学になってしまうのではないか。なんとなく、関大の伝統の中に、われわれがあぐらをかいているというような感じがする。しかし、何の問題よりも就職のことがポイントであろう。関大の法科は優秀だ優秀だといっても中央の方である。こういうところで考えねばならないのではないか？　もっと、もっと組織だった教育が必要である。

## 必要な組織　伝統にあぐらをかくな

**大谷**　五十数校ぐらいあります文化的な意味ではダメですが、現実政治という意味での資料はどこの大学でも膨大な資料がある。日本の研究書などは全然ダメである。

## 必要な組織だった教育

日本の学生の特徴は日本の文化を全然知らないということでありまして"禅"とか"お茶"ということを全然知らない。こういう本は日本でどのように評価されているかという問題があっても読んでいないから知らない。日本の教育はこういう点、かたよっている。現在、大学は就職のプロセスとしてあるしかし、それは現実問題であるから否定する必要はない。それではいかに関大を就職率の高い大学に引き上げていくかということが、焦眉の急であると思う。現実主義的な立場に立って大学を改革させていくのであれば、パック・ボーンのためにはタイプをする、英語の時間を増やす、英会話をするというようにして、それができなければついていけないというような強硬な政策があったら、五年たてば就職率は百パーセントの大学になれると確信する。しかも、もっと発展する、と。いままでいけば関大は近畿大学よりもダメな大学になってしまうのではないか。なんとなく、関大の伝統の中に、われわれがあぐらをかいているというような感じがする。しかし、何の問題よりも就職のことがポイントであろう。関大の法科は優秀だ優秀だといっても中央の方である。こういうところで考えねばならないのではないか？　もっと、もっと組織だった教育が必要である。

【完】

# 関西大学を築いた人々 ⑦

## 仁保亀松

80年史編纂室嘱託員　井上正一（下）

**関大学長時代**

昭和三年京都帝国大学を辞した仁保は、本学に第八代学長として迎えられた。当時の本学は、理事会が天八学舎新築を決議し、学部では哲学・英文学・科の開設、千里山図書館の竣工、御大礼奏賀殿（威徳館）の下賜ということ、外見的には学内の充実をはかり、隆盛途上にあるかのごとくにみえたが、新任学長を待っていた内実は、極度の財政難下において教務内容の充実をはかるという至難の業であった。

大正年間の本学は専任教授がほとんどなく、すべて外来講師によって授業がおこなわれていた。校友山田耕助氏によれば、当時の学生はむしろ京大・神戸高商・大阪商大などの一流教授によって講義がなされることをむしろ誇りにしていた。とのことであるが、大学である以上専任教授を置くことは当然の要求であった。仁保もまたこの必要性を痛感し、昭和四年以降は、年毎に専任教授増員がおこなわれた。

昭和八年滝川事件によって、京都大学法学部の諸教授が辞職したため、その欠を補うべく仁保自身が京大におもむき教壇に立ったことは、前引史料にみるごとくである。したがって、滝川事件関係者と仁保は、相反する立場にあった名がみえ、就中和田教授は仁保の最初の受講生であった。

仁保はかねて、学術雑誌発行の必要性を説き、「関西大学研究論集」の発行に力をそそいだが、自身もその創刊号に「王道の意義を検討して皇道の法理的考察に及ぶ」と題する論文を寄せている。

仁保の研究業績、「法学協会雑誌」（東大）「京都法学会論文集」「法学論叢」（京大）「千里山学報」などに数多くの学術論文が掲載されるであろう。

人間としての仁保は、論文の中での一人称を「余は……」と書き演話の際には「我輩は……」と口にするのが常であったことからも知れるように、明治の気骨を持った人物であった。昭和十二年三月、学長を退いて郷里に帰ってからも、常に本学のことが念頭にあったことは、仁保をたずねた中谷教授の歌の中にもうかがえる。

師の君は病の床にいましつつ
十年育てし学園語りたまふ
（中谷敬寿）

昭和の前半期に学長として在職した仁保は、千里山・天六の二つの学舎が建築されて、形のととのった関西大学の中に「教務内容の充実」「優秀教員の養成」という内容を盛ることにつくし、今日の関西大学の、学術水準の基礎をかためた人として、忘れ難い学長の一人である。

昭和十八年九月二十六日歿・七十七歳・静観院殿通誉幽関亀松居士・三重県西拓植村新堂に埋葬・正三位勲二等・法学博士。

（**親字は岡野前校友会長筆**）

## 徳育教育を実践　学術の基礎を固める

仁保は日ごろ説いている徳育の成果を実践した逸話として語られている。

仁保はまた後進育の育成にも力を入れ、昭和四年には大学院が開設されることとなった。最初の入学生の中には現在本学教授である和田豊一、森川太郎、山口辰雄や時局評論がみられる。著書には「法制通論」（明治37）や、その増補版「国民法制通論」（昭和3―4）、法理学「たとがある。なかでも「関西大学創立五十周年記念論文集」に寄せた「日本民法典編纂の法理観」と題する論文は民法典論争研究の基本文献として、現在も、そしてこれからも多くの人々に読まれるであろう。

人間としての仁保は、論文の中での一人称を「余は……」と書き演話の際には「我輩は……」と口にするのが常であったことからも知れるように、明治の気骨を持った人物であった。昭和十二年三月、学長を退いて郷里に帰ってからも、常に本学のことが念頭にあったことは、仁保をたずねた中谷教授の歌の中にもうかがえる。

師の君は病の床にいましつつ
十年育てし学園語りたまふ
（中谷敬寿）

昭和の前半期に学長として在職した仁保は、千里山・天六の二つの学舎が建築されて、形のととのった関西大学の中に「教務内容の充実」「優秀教員の養成」という内容を盛ることにつくし、今日の関西大学の、学術水準の基礎をかためた人として、忘れ難い学長の一人である。

昭和十八年九月二十六日歿・七十七歳・静観院殿通誉幽関亀松居士・三重県西拓植村新堂に埋葬・正三位勲二等・法学博士。

（**親字は岡野前校友会長筆**）

## 銀閣寺

木山源一

**随筆**（短歌）

冬のひと日、京に出て、銀閣寺に立ち寄りました。折しも粉雪が降り出しました。はじめ風花のごとく、やさしく、ちらほらとしていましたが、だんだんとかりに「雪の銀閣寺」を見物することになりました。よいめぐり会わせというべきでした。

叡山に雪の光りて見ゆるなり銀閣寺道は粉雪降る中
あたたかに手に受けとめし風花のしばし立たずむ銀閣寺道

銀閣寺道の中途に疏水の流れがあって、清らかな水が流れています。流れの淵は凍って氷柱が下っており、それに粉雪がたまって、また変った風趣であります。

清らなる疏水の流る淵にして氷柱さがりて粉雪たまれり

銀閣寺前の道はゆるい坂道となってかなり長くつづいています。

やがて銀閣寺門前に来ます。数日前の雪が、そのまま屋根につもっている門をくぐり入ると、よく手入れされた生垣が長くつづいて清楚な感じに打たれます。

雪いまだ残れる門をくぐり入る銀閣寺苑の生垣長く

銀閣寺庭園内の青松はよく手入れされ、そのかたちよく整い、あざやかな松の緑に、粉雪降りしきるとき、しばしわれを忘れて、見とれさせるものであります。

舞ひおつる粉雪の中に立たずみぬ銀閣寺庭の青き松並

**オーバー**の肩より粉雪舞ひ落ちぬ銀閣寺庭に立ちてしばしを

銀閣寺（慈照寺銀閣）は古風ながら、やはり伝統のよさを偲ばせ、この静寂の中によく調和して美しいものでありますが、それに粉雪が止めどなく降りつのり、あたり一面におおいかぶさる情景はえも言い得ないものであります。

降りしきる粉雪の流れつよければ動くことなく銀閣寺建つ

（毎日新聞掲載入選）

寺苑の池（鏡湖池）が凍って、その氷の上に、降りしきる粉雪がつもり出して、白一色になって来ると、あたかも庭園に白砂を敷いたごとく、ひっがりはじめます。

凍りたる銀閣寺の池に粉雪降り白くつもりて白砂のごとし

積りかけた粉雪に陽が当り、溶けて消えゆく中に、陽影になっているところは、その形のままに雪が残ります。

いま降りて積りし粉雪に夕陽光てり松の陽影は消えず残れる

やがて帰途につくころ、まだ粉雪がしきりに舞いおりて来ました。さきほどの疏水の流れにおりて消えてゆきます。

粉雪の降りしきりつつ、つまづきに消えてゆくなり疏水の流れに

風に流れて、なぜに粉雪が降り荒れるようになり、ふりかえって見ると、銀閣寺を包む背後の山、月待山も雪にかすむほどになって来ていました。

月待の山かすむほど粉雪降る銀閣寺道のしづけさの中に

（昭27学二法大阪市福島区役所環境係長）

## 移転

▽青木巳弔（昭39学一文新）大東市北条一一三五協栄製作所野崎寮内
▽明石正隆（昭38学一商）高槻市中小路一九八一七四
▽井上勝朗（昭41学一法）吹田市古江台五丁目一番四二一一三〇六号
▽飯田純三（昭38学一法）大阪市天王寺区玉造本町一一二
▽上田剛一（昭39学一法）大阪市住吉区住吉町一四五
▽池谷文男（昭39学一商）兵庫県川西市小戸一丁目二一六
▽石田彰（昭39学一法）摂津市千里丘東五丁目一一五
▽磯辺悠二（昭41学一文新）東京都調布市下石原三三一岩崎荘
▽磯村義雄（昭38学一経）河内市若江本町四丁目七番七号
▽稲村英樹（昭39学一法）明石市茶園場町二番一〇号
▽岩井哲郎（昭33学一法）寝屋川市早子町七一二八
▽岩永繁好（昭41学二商）名古屋市千種区吹上本町一一三日立マクセル㈱内
▽上田浩三（昭37学二商）大阪市天王寺区清水谷町一八一一
▽上田耕太郎（大15学経）高槻市服部大蔵司二〇八の六
▽上田康二（昭41学一商）北海道帯広市東八条七丁目渡辺石雄方
▽上原照国（昭40学一法）大阪市阿倍野区北畠四一七〇府住B号館四四
▽小北博孝（昭37学一経）枚岡市石切町一九〇二一一五
▽尾崎辰男（昭40学一法）東京都杉並区上高井戸三一五九八藤森方
▽尾崎升男（昭34学一経）守口市藤田町四丁目一六二
▽越智良典（昭38学一経）大阪市住吉区苅田町九一一九プラウンハウス三八号
▽大川雅俊（昭41学一商）神戸市灘区高羽住田一三の一
▽大先一成（昭14大法）埼玉県蕨市塚越一丁目一番一六号
▽大谷寿信（昭27学一法）宝塚市川面坂戸二五
▽大津健造（昭39学一経）西宮市社家町一一一七
▽近江政輝（昭41工電）大阪府松原市松ケ丘三丁目四番一二号
▽柏木康弘（昭41工電）西宮市高座町五〇㈱東京開発社宅
▽過原俊文子（昭39学一法）尼崎市東園田町九丁目一五九一八
▽川上健一郎（昭41学一法）東京都新宿区西落合四丁目一四の一五
▽川崎登茂男（昭41学一経）富山市中野新町二一一八号大阪製薬㈱内
▽川田峰夫（昭28学二商）東大阪市荘内
▽木山源一（昭27学二法）東大阪市池島町一五六四
▽紀之内義人（昭39学一経）西宮市浜脇町二番一五号
▽北野辰弥（昭39学一法）河内長野市栄町一番二九号
▽北本慶三（昭37学一法）大東市御供田三五〇一二
▽篠喜治光（昭40学一経）札幌市
▽篠辺悠二（昭41学一文新）東京都調布市下石原三三一岩崎荘
▽磯村義雄（昭38学一経）河内市若江本町四丁目七番七号
▽稲村英樹（昭39学一法）明石市茶園場町二番一〇号
▽岩井哲郎（昭33学一法）寝屋川市早子町七一二八
▽岩永繁好（昭41学二商）名古屋市千種区吹上本町一一三日立マクセル㈱内
▽上田浩三（昭37学二商）大阪市天王寺区清水谷町一八一一
▽上田耕太郎（大15学経）高槻市服部大蔵司二〇八の六
▽上田康二（昭41学一商）北海道帯広市東八条七丁目渡辺石雄方
▽上原照国（昭40学一法）大阪市阿倍野区北畠四一七〇府住B号館四四
▽小北博孝（昭37学一経）枚岡市石切町一九〇二一一五
▽尾崎辰男（昭40学一法）東京都杉並区上高井戸三一五九八藤森方
▽尾崎升男（昭34学一経）守口市藤田町四丁目一六二
▽越智良典（昭38学一経）大阪市住吉区苅田町九一一九プラウンハウス三八号
▽大川雅俊（昭41学一商）神戸市灘区高羽住田一三の一
▽大先一成（昭14大法）埼玉県蕨市塚越一丁目一番一六号
▽大谷寿信（昭27学一法）宝塚市川面坂戸二五
▽大津健造（昭39学一経）西宮市社家町一一一七
▽近江政輝（昭41工電）大阪府松原市松ケ丘三丁目四番一二号
▽柏木康弘（昭41工電）西宮市高座町五〇㈱東京開発社宅
▽過原俊文子（昭39学一法）尼崎市東園田町九丁目一五九一八
▽川上健一郎（昭41学一法）東京都新宿区西落合四丁目一四の一五
▽川崎登茂男（昭41学一経）富山市中野新町二一一八号大阪製薬㈱内
▽川田峰夫（昭28学二商）東大阪市荘内
▽木山源一（昭27学二法）東大阪市池島町一五六四
▽紀之内義人（昭39学一経）西宮市浜脇町二番一五号
▽北野辰弥（昭39学一法）河内長野市栄町一番二九号
▽北本慶三（昭37学一法）大東市御供田三五〇一二
▽篠喜治光（昭40学一経）札幌市
▽篠辺悠二（昭41学一文新）東京都調布市下石原三三一岩崎荘
▽磯村義雄（昭38学一経）河内市若江本町四丁目七番七号
▽稲村英樹（昭39学一法）明石市茶園場町二番一〇号
▽岩井哲郎（昭33学一法）寝屋川市早子町七一二八
▽岩永繁好（昭41学二商）名古屋市千種区吹上本町一一三日立マクセル㈱内
▽上田浩三（昭37学二商）大阪市天王寺区清水谷町一八一一
▽上田耕太郎（大15学経）高槻市服部大蔵司二〇八の六
▽上田剛一（昭39学一法）大阪市天王寺区玉造本町一一二
▽井上勝朗（昭41学一法）吹田市古江台五丁目一番四二一一三〇六号
▽飯田純三（昭38学一法）大阪市天王寺区玉造本町一一二
▽明石正隆（昭38学一商）高槻市中小路一九八一七四
▽磯辺悠二（昭41学一文新）東京都調布市下石原三三一岩崎荘
▽磯村義雄（昭38学一経）河内市若江本町四丁目七番七号
▽稲村英樹（昭39学一法）明石市茶園場町二番一〇号
▽岩井哲郎（昭33学一法）寝屋川市早子町七一二八
▽岩永繁好（昭41学二商）名古屋市千種区吹上本町一一三日立マクセル㈱内
▽上田浩三（昭37学二商）大阪市天王寺区清水谷町一八一一
▽上田耕太郎（大15学経）高槻市服部大蔵司二〇八の六
▽上田剛一（昭39学一法）大阪市天王寺区玉造本町一一二
▽井上勝朗（昭41学一法）吹田市古江台五丁目一番四二一一三〇六号
▽飯田純三（昭38学一法）大阪市天王寺区玉造本町一一二
▽明石正隆（昭38学一商）高槻市中小路一九八一七四